

説 教

聖日礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2023年7月30日（日）

主 題：「私にとっての大きな喜びは」

—神の栄光—

テキスト：3ヨハネの手紙3、4節

はじめに

- ・おはようございます。
- ・皆さん。あなたには「どんな時に喜びがありますか？」
例えば、
 - ・目標を達成した時に得る喜び（スポーツ、学業などから得る満足感）
 - ・他人の役に立つ時に得る喜び（人助けから得る充足感）
 - ・ディズニーランド、UFJ へ行き、楽しむ喜び（別世界を経験する）
 - ・親が子どもの姿を見て得る喜び（期待感の充足）
 - ・その他。喜びについては多々あり、「十人十色」でしょう。
- ・喜びには大きく分けて2つあります。
 - ① 自分（私）が受ける喜び
 - ② 自分（私）が与える喜び
 ⇒二つは相互間関係がある
- ・さらに喜びは「感謝の心」へ導きます。その意味で「喜び」と「感謝」は「つながり」があると言えましょう。 [2テサロニケ人への手紙](#)
[5:16](#) いつも喜んでいなさい。
[5:18](#) すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。
- ・ヨハネの手紙第3の著者ヨハネにとっての喜びは、次のようでした。
[1:4](#) 私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。 [3ヨハネ](#)
- ・彼の喜びは、親が子に対してもつ喜びです。この手紙は1節に記されていますように、愛する弟子ガイオに対し書かれました。ヨハネはガイオを、この上なく喜びました。なぜ、喜んだのでしょうか。
- ・そして、彼の喜びは約2千年経過した現在でも、私たちの心に届く喜びでもあります。では、ヨハネが得た「喜び」とは、どのようなものであったかと学びましょう。 2点

大切なポイント

1. 年老いたヨハネの喜び

1:1 長老から、愛するガイオへ。私はあなたをほんとうに愛しています。

1:2 愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

・ヨハネが受けた喜びは；

1) ガイオが真理のうちを歩んでいること

・ここでいう真理は、イエスが言われたことばと「つながり」があります。

ヨハネはイエスの約3年の公生涯を、共に生活した人でした。イエスは次のように言われました。ヨハネの福音書14章

14:6 「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

・当時は、現在のような教会がまだ建てられていなかった時代です。新約聖書もまだ、今日のように出来上がっていない時代です。巡回伝道師が家々の教会を訪ねて、キリスト・イエスの福音を語り伝えていました。

・そのような旅人を受け入れることは、決して簡単なことではありませんでした。豊かな人にとっては問題なかったでしょうが、皆がそうではありませんでした。そのような時代に、ガイオは旅人を温かく迎えていました。

・ガイオは神の教え（「旅人をもてなさない」）に、忠実でした。

⇒ヨハネにとって、神に忠実なガイオが「喜び」でした。

単に口先だけの言葉ではありません。行動が伴っていました。（実践）

・すなわち、ヨハネはガイオが神に忠実に従い、歩んだことを喜びとしました。

2) ガイオについて良い評判を知らされたこと

1:3 兄弟たちがやって来ては、あなたが真理に歩んでいるその真実を証言してくれるので、私は非常に喜んでいます。3ヨハネ

・ガイオについて「良い評判」が、ヨハネのもとに届きました。

「良い評判」 ⇒ 初代教会時代、執事が選ばれた選考基準を思い出します。

使徒の働き 6章

6:3 そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。

・ヨハネはガイオの「良い評判」を聞き、それ以上の喜びはありませんでした。「良い評判」は、幸いな証しです。初代教会のステパノやピリポは執事でした。そして尊い働きを後世に残しました。ガイオも「良い評判」の人でした。

2. ヨハネは至福の喜びを得た

1:4 私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。

・これはヨハネの言葉です。

1) 霊的成長を見る喜び

1:3 兄弟たちがやって来ては、あなたが真理に歩んでいるその真実を証言してくれるので、私は非常に喜んでいきます。

・第一コリント人への手紙3章を開きますと、当時のコリント教会の姿が記されています。コリントの町は当時、船舶が行き交う港町で経済的に非常に繁栄していました。そこにはあらゆる種類の、世の楽しみがありました。それにギリシャ神話にまつわる神々も存在し、偶像礼拝も盛んであり娼婦たちが多数いました。(今は草が茂り、廃墟となっています。)

・パウロの伝道によって、コリントの町にキリストの福音が伝えられました。そして教会が生まれました。しかし、コリント教会の信者たちは、社会から多くの影響を受けてしまいました。教会の中には、次のような人々が入っていました。

1 コリント人への手紙6章

6:9 あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できないことを、知らないのですか。だまされてはいけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、

6:10 盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。

・そのようなコリント教会は、神の宮であるにも関わらず、大変な状態となりました。2種類のクリスチャンがいました。

⇒「肉に属する人」と「御霊に属する人」

パウロは次のように言いました。

1 コリント人への手紙3章

3:1 さて、兄弟たちよ。私は、あなたがたに向かって、御霊に属する人に対するようには話すことができないで、肉に属する人、キリストにある幼子に対するように話しました。

3:2 私はあなたがたには乳を与えて、堅い食物を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。実は、今でもまだ無理なのです。

3:3 あなたがたは、まだ肉に属しているからです。あなたがたの間にねたみや争いがあることからすれば、あなたがたは肉に属しているのではありませんか。そして、ただの人のように歩んでいるのではありませんか。

・しかしながら、コリント人への手紙第2では、そのようなコリント教会の信者に対し、パウロは次のように言いました。

2 コリント人への手紙 4 章

4:7 私たちは、この宝を土の器の中に入れてあります。

それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。

- ・イエス・キリストによって救われたクリスチャンには、宝が与えられていると言います。クリスチャンに与えられた特権とは少なくとも 3 点あげられます；

① キリストの十字架の御血により、罪が赦されていること

1:7 御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。

1 ヨハネ

② 世の勝利者であること

5:5 世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の神子と信じる者ではありませんか。 1 ヨハネ

③ 天の御国に入る聖徒として、内なる人が成長する

3:18 私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。 2 コリント

- ・ガイオはその意味で、真理に忠実に歩み、内なる人が成長した人でした。それは真理に従い、神の教えに忠実に歩んだ福でした。s
それはヨハネにとって、それはこの上ない大きな喜びでした。

2) ヨハネの労は無駄ではなかった

聖書は次のように記しています。

8:28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。 ローマ

- ・ヨハネがキリストの福音を宣べ伝えたこと、弟子たちを教え導いたこと、それは確かに無駄ではありませんでした。全てのことは神のご計画の中にありました。神に従う聖徒の歩みは、聖徒の信仰を現します。

3) 聖徒の喜び

- ・今の時代も同じように、神を信じる聖徒には喜びがあります。3 点挙げます。

① 神に用いられること

⇒それは神に栄光をお返しすること

② キリストの福音を伝えること

4:2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くでもしっかりとやりなさい。 2 テモテ

③ みことばに仕える

⇒奉仕は神の栄光を現すことであり、喜びです。

『例 話』

- ・1976年(約47年前)、私はドイツ・デュッセルドルフ(Duesseldorf)で、神から召命をいただき、日本語キリスト教会を始めました。それはただ神の恵みでした。今振り返ると、それは実に恐れ多いことでした。
- ・学生の身から呼び出され、神は神学教育も受けていない小さな者を用いてくださいました。そして日本語教会が誕生しました。それから現在に至るまで47年間の月日が経ちました。その間、牧師が立てられてきました。現在は6代目のヘーゲレ(Haegeler)牧師が牧会しておられます。
- ・しかもこのデュッセルドルフキリスト日本語教会が、ヨーロッパで最初にできた日本語教会になるとは、誰が想像したことでしょうか。ただ、神のご計画でした。
- ・それは伝道者の私にとって、至福の喜びです。
⇒ ソリ・デオ・グロリア 「神にのみ栄光があるように」
- ・皆様にとっては、なにが喜びでしょうか。

ま と め

主 題：「私にとっての大きな喜びは」

—神の栄光—

- ・年老いたヨハネは言いました。

3 ヨハネの手紙

1:4 私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。

- ・私たちキリスト者にとって、神の栄光が現されることこそ大きな喜びです。私たちは、そのような信仰生活を過ごそうではありませんか。

* God bless you !